

# 鋼道路橋の疲労設計に関するWEB講習会のご案内

日本道路協会では、平成9年5月に既設の鋼道路橋の疲労に対する点検手法や補修補強の基本的な考え方等を取りまとめた「鋼橋の疲労」を出版しました。平成14年3月には、新設橋に適用する「鋼道路橋の疲労設計指針」を発刊し、鋼道路橋の疲労耐久性の向上に寄与してきました。

その後、「橋、高架の道路等の技術基準」（道路橋示方書）の改定、技術的知見の蓄積を踏まえ、既刊の図書の内容を見直したうえでこの度、令和2年9月に「鋼道路橋疲労設計便覧」として新たに刊行する運びとなりました。

当該便覧は、平成29年7月改定の限界状態設計法や部分係数法が導入された道路橋示方書に対応し、実務者の便を図るため、特殊な条件でなければ、道路橋示方書が求める性能を満足し、かつ、合理的と考えられる設計の方法や考え方について取りまとめるとともに、設計の実務一般において、所要の性能を有する道路橋とするための技術的注意事項等についても示しています。

今回、道路橋の設計・製作・施工・維持管理に携わる技術者に向けて、「鋼道路橋疲労設計便覧」の内容をより深く理解していただくためのWEB講習会を実施することといたしました。会員はじめ多数の方々をご参加くださるようご案内申し上げます。

## 記

### 参加申し込みについて

お申し込みはこちらからお願いいたします。

<https://www.japan-road-association.jp/Events/>



申し込み期間：令和3年2月1日～5月21日まで

視聴期間：令和3年2月1日～5月31日までの期間限定のオンデマンドの映像配信形式で行います。

お申し込み頂いた方には、専用ページにログインする際に必要となるユーザーIDとパスワードを配付いたします。

専用ページにログインの上、講習会映像をご覧下さい。

### 講習プログラム

- 鋼道路橋の疲労設計について

### 視聴について

講習会動画視聴 日本道路協会 会員：1,000円  
非会員：2,000円

※講習会は、「鋼道路橋疲労設計便覧（令和2年9月発行）」に沿ったスライドにて説明を行いますので、受講にあたっては、これらの図書を別途ご用意下さい。

参加費請求書は受付完了メールに添付されますので、必要に応じ印刷してご利用ください。なお、お振込みにあたりましては、請求書に印刷されている受付番号を書き添えていただけますようお願いいたします。

### CPDについて

本講習会は土木学会のCPD認定プログラム（申請中）です。

CPDの取得のための受講証明書が必要な方は、「申請書・受講証明書」に所要事項を記載して、日本道路協会（[ishikawa@road.or.jp](mailto:ishikawa@road.or.jp)）へ送信してください。受講証明として返信させていただきます。建設系CPD協議会加盟団体CPDシステム利用者の方は各団体のルールに沿って、CPD単位の申請をお願い致します。